

道路区分	特徴	体制面				安全面				調整面				
		体制面		運営面		事前		当日		道路・交通	森林施業・治山等	観光・運輸	地域住民・その他	
		共通課題	個別課題	共通課題	個別課題	共通課題	個別課題	共通課題	個別課題					
林道 (閉鎖ゲート奥) 大川林道を想定	【土地】国有林 国立公園＝× 天然記念物＝× 鳥獣保護区＝× 【交通】 研究等許可車のみ 【登山】 区間中に登山口はなく 歩行者は想定されない が、林道終点に管理歩 道あり。※通行止ゲート 手前に登山口あり 【狩猟】なし 【林業】あり 【通信】電話、無線とも に通じにくい(要確認)		■手続き 道路交通法：× 道路法：×？ 鳥獣法：○ 国有林入林：○		・適切なゲート鍵管理			○事前周知 ・現地看板の設置 通行止ゲート ゲート奥各地 花山歩道登山口とP 大川林道終点P 鹿ノ沢小屋		・実施時期、時間帯を 通行者が少ないと見 込まれる時期、時間 帯に設定 ・通行禁止措置 ゲート～林道終点 ・人員配置 ゲート 林道終点 区間各所 花山歩道登山口付近 ・通信連絡 狙撃班、回収班、配 置人員と本部での通 信確保		・間伐等施業実施年、 時期とSS実施年、時 期の連動 ・施業実施期間、時間 とSS実施期間、時間 の分離		・他手法捕獲との調整
林道 (閉鎖ゲート手 前) 大川林道想定	【土地】国有林 国立公園＝× 天然記念物＝× 特定猟具使用禁止区 域＝△(一部) 【交通】 自由通行可能 ※登山車のほか、研 究等許可車が通行 【登山】 花山歩道登山口があ る。利用者は少ない。 大川の滝バス亭まで 歩く登山者もいる。 【狩猟】なし 【林業】あり 【通信】電話、無線とも に通じにくい(要確認)	・各機関協力の全体 体制構築と役割分 担 ・安全管理その他を含 む実行計画の作成 ・全体作業工程表の作 成 ・指揮命令系統と役割 分担の体制表(図) の作成 ・緊急時対応、連絡表 の作成 ・実施本部の設置 ・適切な捕獲作業受託 者の選定	■手続き 道路交通法：○ 道路法：×？ 鳥獣法：○ ※公道、特定猟具 使用禁止区域 国有林入林：○	・事務手続き処理の人 員確保 ・分岐など通行止め看 板設置個所への人員 の配置と確保 ・通行止め区間の連絡 体制、無線の事前テ スト ・関係者間の情報共有		○事前周知 ・町報掲載 ・防災無線放送 ・HP掲載 ・集落等住民説明 ・猟友会への説明・連 絡 ※狩猟ないが念の ため ・病院等への事前連絡	○事前周知 ・現地看板の設置 大川林道入口 登山口までの各所 登山口とP 鹿ノ沢小屋 大川林道終点P	○予算等も考慮した 人員配置配置等の バランス	・実施時期、時間帯を 登山者が少ない時 期、時間帯に設定 ・通行禁止措置 林道入口～登山口 ゲート ・人員配置 林道入口 花山歩道登山口 ゲート 林道区間各所 ・通信連絡 狙撃班、回収班、配 置人員と本部での通 信確保		・間伐等施業実施年、 時期とSS実施年、時 期の連動 ・施業実施期間、時間 とSS実施期間、時間 の分離		・他手法捕獲との調整	
町道等 町道淀川線想定	【土地】国有林 国立公園＝○ 天然記念物＝× 特定猟具使用禁止区 域＝○ 【交通】 自由通行可能 ※支線ゲート奥は許可 車のみ ※積雪時は通行止め ※観光車関連車両、 管理車が多い 【登山】 宮之浦岳登山者は年 間約1.3万人。途中に 紀元杉がありバスも運 行。紀元杉から登山者 の歩行がある。 【狩猟】なし 【林業】あり？(安房林 道支線沿い) 【通信】電話、無線とも に通じにくい(要確認)		■手続き 道路交通法：○ 道路法：○ 鳥獣法：○ ※公道、特定猟具 使用禁止区域 自然公園法：○ 国有林入林：○			○事前周知 ・現地看板の設置 ヤクスギランド管理棟 〃休憩舎、P 通行止ゲート 紀元杉 各支線入口 淀川登山口 淀川小屋 バス停留所 ・観光関係者(特にガイ ド、宿、レンタカー会社) への説明・連絡 ・バス、タクシー会社へ の説明・連絡 ・高速船、フェリー、空 港 ・レクリエーションの森 保護管理協議会への 説明・連絡 ・その他管理者への説 明・連絡		・時間帯 登山・観光のオフシ ーズンに設定するこ とが必要 ・通行禁止措置 ヤクスギランドゲート ～淀川登山口 ・人員配置 ヤクスギランドゲート 淀川登山口 各支線入口 区間各所 ・通信連絡 狙撃班、回収班、配 置人員と本部での通 信確保	・道路工事関係者との 調整	・間伐等施業実施年、 時期とSS実施年、時 期の連動 ・施業実施期間、時間 とSS実施期間、時間 の分離	・観光関係、タクシー 会社 →SS実施時期と登山・ 観光シーズンの分離 ・路線バス会社 →バス運行時刻とSS 実施時間帯の調整 ・観光資源としてのヤ クシカとの兼ね合い		・他手法捕獲との調整	

※丹沢先事例